

# 学びをひろげる

(第30回)

※ ○は、自分以外の参加した人の数です

## まる (わたしと○人の会)

日時 2019年6月22日(土) (1時45分~5時)  
場所 城東区民センター4階 中会議室  
〒536-8510 大阪市城東区中央3-5-45 TEL06-6932-2000  
参加費 500円(会場費・運営費等) ※学生は、無料です。

一人で拓げられない学びを○(まる)人が集まり、多様な人たち(年齢、国籍、職種など様々な人たち)との出会い・対話を通して自分の学びを拓げ、授業づくり・教材づくりをしませんか。もう一度、教育・授業のあり方をていねいに見つめ語り合しましょう。



地下鉄 長堀鶴見緑線・今里筋線「蒲生四丁目駅」1番・7番出口 徒歩約5分

京阪電鉄 野江駅 徒歩約8分

### 前回 第29回の内容

#### 部落問題学習 6年生「自分の思いや考えをありのままに出せるとは」～考える子どもを育てる～

高野 佳奈さん(守口市小学校勤務)

6年生の4月から1年間を通して資料集を使いながら、「社会科の授業の中で、平安の穢れ意識から、大正の全国水平社の誕生までの部落差別の歴史を学んで」(指導案から)きました。部落問題の事実や知識を丁寧に積み重ねる学習です。

3学期に入って、「立ち止まって」部落差別について子どもたちが考える授業をつくりたいと思い、学年で教材研究に取り組み、「ある青年Ⅰの手記」という文章を教材に、「結婚差別」について考えることにしました。

一方で「授業づくり」にも焦点が当てられました。▼子どもたちが、一人一人30分かけて、自分の考えや意見を書く。▼子どもたちが、1時間、意見を交流する。▼課題を見つけて、さらに書き、交流・話し合いをするという、高野さんたち学年集団の果敢な挑戦です。どのクラスでも、実際に子どもたちは真剣に書き、2枚目、3枚目と書き続けます。「子どもたちは、書けるんや!」という確信を持ったと言われます。「書く」授業に取り組んだ翌日、子どもたち一人ひとりが「ノート」(自分の書いたもの)を持って、1時間意見を交流し話し合う授業に取り組みました。

高野さんも学年の教師たちも、新たな授業・学習の世界に舵を切った、決して大げさな言い方ではなくそう思えました。これまで当たり前にしてきた授業の「やり方」を変えることは、中々できることではありません。授業の中で子どもたちが立ち止まり、悩み、考える姿を見ながら、自分自身も揺れ始めました。高野さんはこの経験したことの無い感覚を、「そんなモヤモヤこそが考え合う意味なのかもしれない。モヤモヤするから考え続けることが必然になってくる。そんな力を育てるための初めの一步の授業にしたい。」と、絶妙の言葉で表しました。

意見交流では、「考える子ども」がキーワードになりました。「教師は差別をなくすことはできないかもしれないけれど、考える子どもを育てることはできる。考え続ける子どもは、差別をなくすことができる。」との、高野さんの発言がきっかけです。松井さんは、「教師の仕事って何だろうと考えこまされる私にとってはかなり根源的な問いだった。」と言います。そして、「高野さんは授業案を書き直す。その変更の中心は、教師の価値観の下に教師が主導するスタイルから、子どもが問題を発見し、子ども同士の交流で考えを深めていく、という流れに変えたということだ。これは教師(高野さん)の問題意識を放棄したわけではない。自分の問題意識を持ちつつ子どもの活動に学ぶ、ということのようだ。だから高野さんが子どもの反応や活動を語るときには目が輝いていた。」と語りました。

最近、学校現場では部落問題学習の実践を敬遠する風潮が醸成されていたのではないかと、私(松森)は感じています。しかし若い人たちの率直な目で部落差別の実態と向き合い、子どもたちと学び合う学習が進んでいくことを大いに期待したいと思います。「部落差別解消法」(2016年公布)でも、「教育による啓発」がはっきりと求められています。



研究会のようす

### 今回 第30回は

聞き合う授業・話し合う授業 提案 松森俊尚(“学びの会”スタッフ)

前回の流れを受けて、テーマを設定しました。かつて「先生の話をよく聞くんやで!」と声を掛けて送り出す朝の日常の光景がありました。「しっかり聞きなさい」と口癖のように教師の声が響きます。教師の言葉を暴力的にシャットアウトする子どもたちがあります。学校に限らず、職場でも、付き合いの場でも、政治の場でも、「聞く」「話す」ことは基本の力と言われます。障害者は「聞く力・話す力」が「劣っている」のでしょうか?さらに対話、ダイアログ、コミュニケーションへとテーマはつながります。

「学びをひろげる」スタッフ 松井 直哉、 松森 俊尚

連絡先 松森 (☎090・1960・3469 ✉matumori@crux.ocn.ne.jp)

★次回第31回研究会は、2019年9月14日(土)午後1時45分~ 城東区民センター会議室にて★